

平成28年度 会派調査研究報告書

(視察先1箇所につき1枚)

会 派 名	萑真クラブ
出 席 者	宮川文憲・田原一孝・高添秀明・内藤正之・浅川裕康
事 業 名	婚活事業について 子育て支援事業について
事 業 区 分	①研究研修 ②調査

1 萑崎市での課題と研修・調査の目的

本市においては、人口減少や少子化に対応した施策の充実が喫緊の課題であり、特に、若者が定住して、活力ある萑崎市への取り組みが必要と考える。

このために、少子化に歯止めをかける事業を展開している先進的な都市の状況を調査研究する。

2 実施概要

実 施 日 時	視察先	千葉県旭市
平成29年 2月 8日(水) 午後 1:30~ 4:00	担当部局	市民生活課・子育て支援課

1. 旭市の概要

千葉県の北東部に位置し、千葉市から50km圏、都心から80km圏にあり、南部は美しい九十九里浜に面し、北部には、干潟八万石といわれる房総半島屈指の穀倉地帯となだらかな丘陵地帯である北総台地が広がっている。市の中央部を東西に、JR総武本線と国道126号が通り、周辺は市街地として発展している。

[参考]

人口：67,132人、世帯数：25,771世帯(平成29年2月1日現在)

2. 研修内容

I. 婚活事業について

旭市では、若者の定住化や後継者の結婚対策等を促進し、活力あるまちづくりを進めるため、旭市後継者対策協議会(通称：出会いコンシェルジュ)を平成19年4月に設置した。

◆旭市後継者対策協議会(通称：出会いコンシェルジュ)の概要

- (1) 委員：18名
- (2) 内訳：公募4名・団体推薦14名
- (3) 役員：会長・副会長・会計、監事各1名
- (4) 庶務：市民生活課(市職員が対応)
- (5) 所掌事項

- ① 若者の定住化の促進及び結婚対策に関すること
- ② 出会いの場の提供に関すること
- ③ その他目的達成に必要なこと

◇事業の内容

5月から3月の間に10回程度、婚活セミナーや婚活パーティ等のイベントを企画及び実施。

年度	参加者数			会員登録数			会議開催数
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
26	118人	100人	218人	266人	163人	429人	3回
27	130人	85人	215人	294人	173人	467人	4回
28	81人	65人	146人	313人	179人	492人	4回

◇事業費

旭市からの補助金150万円と参加費で運営。

◇実績

会員結婚者数 平成26年度…10人 平成27年度…10人
平成28年度…6人[平成29年1月現在]

◇事業効果

- ・平成19年度から結婚した会員数は82名にのぼる。
- ・プロ講師によるセミナーやイベントに参加することで、異性とのコミュニケーション能力が向上している。
- ・会員となりイベントやセミナーに参加することで、結婚スキルが向上し、出会いの幅が広がり、イベント以外で結婚される会員もいる。

◇今後の課題

近年、20代から30代の女性人口の減少や、近隣市で同様の事業を実施していることから、参加女性の確保に苦慮している。

今後として、女性が参加したくなるイベントを企画し、参加女性の増加（確保）に努めていく。

Ⅱ. 子育て支援事業について

旭市でも多くの子育て支援事業を実施しているが、本市と重複していない事業について研修を受けた。

〔参考〕合計特殊出生率について

- ・平成18年度の1.33から平成27年度は1.46に上昇した。
- ・平成22年度から乳幼児紙おむつ給付事業をスタートした。
- ・平成24年度から出産祝い金を増額した。（10万円から20万円に増額）

3. 考察（これらの取り組みを蕪崎市にどう活かせるか）

旭市における婚活事業の推進に係る庶務は、市民生活課の職員が担当している。また、旭市後継者対策協議会に年間150万円の事業活動の補助金を交付し、運営補助を行っている。

やはり、本市においても若い男女が出会い、結婚し、定住して人口減少に歯止めをかける施策を充実し、活発に展開していくためには、行政の支援体制の強化は必要と感じた。

旭市の子育て支援事業の中で特出すべき事業は、乳幼児紙おむつ給付事業と出産祝い金の増額であると思う。

子育て支援事業は本市の未来に関わる重要な事業なので、これらの事業も参考にしていく中で、子育てをする若い世代が子育てをするなら「蕪崎市で」と思える施策の充実・強化を高齢者も含めて、市民が一体となって考える体制づくりが必要と感じた。

感想（まとめ）
・市政に活かせること



※視察先の写真等がある場合は添付のこと